

Ship to Ship 方式による船舶向け LNG 燃料供給 (LNG バンカリング) を開始
－主要 3 方式での LNG 燃料供給体制を確立－

2026 年 4 月 21 日
 大阪ガス株式会社

大阪ガス株式会社（代表取締役社長 CEO：藤原 正隆）は、本日、当社初となる Ship to Ship 方式^{※1}による船舶向け LNG 燃料供給 (LNG バンカリング) を開始しました。これにより当社は、主要 3 方式での船舶向け LNG 燃料供給が可能となり、柔軟かつ安定的な LNG 燃料供給体制を確立しました。

本日、JFE スチール株式会社の西日本製鉄所福山地区(広島県福山市)において、入港している LNG を燃料とする鉄鋼原料船に対し、LNG バンカリング船^{※2}「SETO AZURE」（読み：セト アズール）から LNG 燃料を供給しました。当社関係会社である大阪湾 LNG シッピング株式会社所有の「SETO AZURE」は、今月 9 日に竣工し、今後、大阪湾・瀬戸内エリアを中心に、LNG バンカリング事業に従事します。

昨今、海運における脱炭素を目指すソリューションの一つとして LNG 燃料船が大きく注目されており、その隻数も世界的に増加しています^{※3}。LNG 燃料は従来の重油燃料と比較して CO₂ 排出量を大きく減らすことができ、将来、e-メタンなどに置き換えることで、さらなる排出量低減や脱炭素化にもつながります。一方で、現在の日本では LNG 燃料の供給設備が十分に整っていないという課題がありました。

今回開始した Ship to Ship 方式は、LNG バンカリング船自体が移動して燃料供給を行うため、柔軟性が高く、また、LNG バンカリング船への LNG 燃料の積込を当社泉北製造所（大阪府高石市）、姫路製造所（兵庫県姫路市）の 2 か所で行えるため供給の安定性にも優れています。加えて、すでに開始している Truck to Ship 方式^{※4}、Shore to Ship 方式^{※5}とあわせて主要な 3 方式すべての LNG 燃料供給が可能となることで、柔軟かつ安定的な LNG 燃料供給サービスを提供します。

Daigas グループは、今後も船舶向けへの LNG 燃料供給の拡大を進めるとともに、2025 年 2 月に発表した「Daigas グループ エネルギートランジション 2050」に基づき e-メタンを社会実装し、船舶燃料向け分野への供給も推進することで、海運業界の低・脱炭素化の実現に貢献してまいります。

※1：岸壁に係留中もしくは錨地に停泊中の LNG 燃料船に対して、LNG バンカリング船が接舷して LNG を供給する方式。

※2：LNG を燃料とする船舶に対して LNG 燃料を供給する船舶のこと。

※3：

2015 年	2020 年	2025 年	2030 年
62 隻	185 隻	869 隻	1,271 隻

※LNG 運搬船を除く

(出典：DNV(ノルウェー海事協会)「Rising LNG demand: Overcoming bunkering challenges」
<https://www.dnv.com/expert-story/maritime-impact/rising-lng-demand-overcoming-bunkering-challenges/#:~:text=LNG%20marine%20fuel%20use%20surges,the%20end%20of%20the%20decade>)

※4：岸壁に係留中のLNG燃料船に対して、岸壁に駐車したLNGタンクローリーからLNGを供給する方式。

※5：岸壁・栈橋に係留中のLNG燃料船に対して、陸上LNGターミナルなどからLNGを供給する方式。

■LNGバンカリング船「SETO AZURE」



全長：86.29m

全幅：17.60m

総トン数：約4,350トン

LNGタンク方式：IMO独立タンクTYPE C方式

LNGタンク容量：約3,610m³

推進方式：電気推進（LNGと重油のデュアルフューエルエンジン）

船主：大阪湾LNG SHIPPING株式会社

造船所：下ノ江造船株式会社

会社概要

■大阪湾LNG SHIPPING

会社名	大阪湾LNG SHIPPING株式会社
本社所在地	大阪府中央区平野町四丁目1番2号
設立	2023年6月14日
代表者	代表取締役社長 岡本 素直
出資者	大阪ガスインターナショナルトランスポート株式会社、NSユナイテッドタンカー株式会社、阪神国際港湾株式会社